

科目名		建築史			
担当教員		熊谷貴子	実務授業の有無	○	
対象学科	建築大工科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	西洋建築の様式変遷とその特徴、代表的な建築物、建築家を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	世界の代表的な建築物や建築家を学び、これからの新しい建築創造の基礎知識とする				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	○図説 建築の歴史 (学芸出版社)    ○ipadでの補足資料    ○映像資料 ●板書を記入するノート    ●マーカーペン(黄色)				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	「建築史」を学ぶということ オリエントの建築		建築の意味・西洋と日本の建築・新潟の建築を学ぶ 古代の代表的建築物を学ぶ		
2	ギリシア建築 ローマ建築		建築様式の特徴と代表的な建築物を学ぶ		
3	初期キリスト教建築 ビザンツ建築		キリスト教建築のはじまりと 東ローマの代表的建築を学ぶ		
4	ロマネスク建築 ゴシック建築		建築様式の特徴と代表的な建築物を学ぶ		
5	ルネサンス建築 バロック建築		建築様式の特徴と代表的な建築物を学ぶ		
6	新古典主義 歴史主義		建築様式の特徴と時代背景、歴史主義建築を学ぶ		
7	テスト①		学習範囲の知識確認		
8	産業革命と建築 近代造形運動		産業革命による技術革新とアーツ・アンド・クラフツ運動を学ぶ アールヌーボーと各地の近代造形運動を学ぶ		
9	モダニズム建築		近代建築三大巨匠のフランク・ロイド・ライト ミス・ファン・デル・ロエール・コルビュジエ を学ぶ		
10	テスト②		学習範囲の知識確認		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
テスト①	テスト②	映像レポート		2級建築士試験の学科に対応できる知識を習得する	
35 %	35 %	30 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		設計業務、インテリアコーディネーターとして8年実務に携わる			